

No.	009	—	2001	事務事業名	はり、きゅう及びマッサージ施術費助成事業	細事務事業名		公的関与	5				
PLAN	課名	長寿介護課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4408	メールアドレス	tyojukaigo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	16年度～年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	(2) 福祉サービスの提供と生きがいづくり				
	事業の対象	東温市在住の65歳以上の高齢者				根拠法令	東温市はり、きゅう及びマッサージ施術費助成条例						
	事業の目的	最終的	介護予防の観点から、健康年齢域の伸長を目的として、はり、きゅう、マッサージ施術費を助成します。			今年度	介護予防の観点から、健康年齢域の伸長を目的として、はり、きゅう、マッサージ施術費を助成します。						
	活動内容	①	施術費助成請求書を受け付けます。			④							
		②	内容を審査し確認した上で、助成金を支給します。			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標			
		事業の性質上、指標設定になじまない。		参考として、申請件数の年間延べ数を記載しています。		件	目標	—	—	—			
					実績	1,369	1,259						
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生			費				
	直接事業費		平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,369 千円	1,259 千円	1,440 千円								
	計(A)	1,369 千円	1,259 千円	1,440 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	602 千円	0.100 人	596 千円	0.100 人	601 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		1,971 千円	1,855 千円	2,041 千円								
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	介護予防及び高齢者福祉の観点からも、施術費の助成は必要です。												
有効性	市において、類似・重複した事務事業はなく、本事業を継続して利用されている方も多く、高齢者福祉の推進に寄与しています。												
達成度	目標値の設定は困難ですが、サービス利用が継続的に行われており、事業目標は達成できていると言えます。												
効率性	健康年齢の伸長により、介護保険費等の抑制に繋がるため、効率的に執行できていると言えます。												
当面の課題	依然利用率は低いため、周知徹底を図り健康年齢の伸長を図る必要があります。												
改訂計画	定期的に応報紙に掲載し、民生委員会等で呼びかけを行い、市民サービスの周知徹底を図ります。												
二次評価者	長寿介護課長	総合評価点	C	必要性	2	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	高齢者の方々の健康の保持・増進、また、介護予防を目的として実施しており、費用対効果は高いと考えます。一方、利用されている方々が固定化する傾向にあるため、もっと多くの方に利用していただくことで更なる介護予防を図ることができると考えられることから、事業の更なる周知を行う必要があります。												

No.	009	—	2023	事務事業名	長寿祝事業	細事務事業名		公的関与	5				
PLAN	課名	長寿介護課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4408	メールアドレス	tyojukaigo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	16年度～年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	(2) 福祉サービスの提供と生きがいづくり				
	事業の対象	毎年4月1日現在において、市内に一年以上在住する満88歳、満100歳以上の者。				根拠法令	東温市長寿祝金支給事業支給規則						
	事業の目的	最終的	満88歳、満100歳の節目に、各3万円、5万円を支給、100歳以上の方には記念品と賞状(101歳以上は祝状)を贈呈し、長寿を尊びます。			今年度	満88歳、満100歳の節目に、各3万円、5万円を支給、100歳以上の方には記念品と賞状(101歳以上は祝状)を贈呈し、長寿を尊びます。						
	活動内容	①	対象者に支給申請書を送付します。			④							
		②	申請書提出後、祝金を指定口座に振り込みます。			⑤							
		③	対象者を訪問し、記念品を贈呈します。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標			
		事業の性質上、指標設定になじまない。		参考として、対象者数を記載しています。		人	目標	—	—	—			
					実績	213	220						
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生			費				
	直接事業費		平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	6,780千円	7,102千円	8,660千円								
	計(A)	6,780千円	7,102千円	8,660千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.104人	626千円	0.104人	620千円	0.104人	625千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		7,406千円	7,722千円	9,285千円								
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	老人福祉の推進を図り、高齢者の生きがい・健康づくりを促進していくために必要です。また、市全体として敬老の意識を継続していくために必要です。												
有効性	高齢者の長寿を祝い、多年の社会貢献に敬意するために有効です。また、該当者に対して類似する事業がなく、有効です。												
達成度	目標値の設定は困難ですが、該当者には全員支給できており、事業目標は達成しています。												
効率性	市の単独事業であり、高齢化に伴い対象者が増加しています。												
当面の課題	平成25年度に対象者の見直しを行いました。今後も対象者が増加する可能性が高く、引き続き事業内容を検討していく必要があります。												
改訂計画	本事業の支給対象者及び金額の検討を行います。												
二次評価者	長寿介護課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	長年社会に貢献してきたことに対する謝意を込めて有効な事業と言えます。一方で、厳しい市の財政状況を考慮すると、今後においては補助の方法等を検討していく必要があると考えます。												

No.	009	—	2032	事務事業名	アクティブシニア介護ボランティア養成・活用事業	細事務事業名		公的関与	5				
PLAN	課名	長寿介護課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4408	メールアドレス	tyojukaigo@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	補助等	実施計画	非該当	事業期間	28年度～年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	(4) 地域で支えあう安心なまち				
	事業の対象	市内在住で概ね55歳以上の者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	高齢者が住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らすことができるよう、見守り・支援・介護等、地域での支え合いに携わる人を養成します。			今年度	アクティブシニア介護ボランティア養成講座を実施します。						
	活動内容	①	認知症、介護、地域活動等に関する講演会の開催			④							
		②	介護関係施設の見学			⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標			
		事業の性質上、指標設定になじまない。		参考として、アクティブシニア介護ボランティア養成講座の参加人数を記載しています。		人	目標	—	30	40	—		
					実績	—	33						
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生		費					
	直接事業費		平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円	平成28年度は、県の事業を活用し講座を実施。講座の実施に係る経費は、全額県が負担。29年度は、東温市社会福祉協議会へ事業の実施を委託。							
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	0千円	0千円	100千円								
	計(A)	0千円	0千円	100千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.074人	143千円	0.074人	146千円					
	全体事業費(A+B)		0千円	143千円	246千円								
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	民間委託等
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	高齢者が住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らすためには、見守り・支援・介護等、地域での支え合い活動の拡充が必要です。												
有効性	市において類似・重複した事業はありません。また、講演会等を実施することにより、人材の発掘、育成を進めていきたいと考えます。												
達成度	目標値の設定は困難ですが、講座の参加者へアンケート調査を行ったところ、全員がボランティア活動に対し前向きな回答を行っており、概ね目標を達成していると考えます。												
効率性	県の事業を活用し講座を実施。講座の実施に係る経費は、全額、県が負担しています。												
当面の課題	地域での支え合い活動の担い手となる人材を発掘、育成していく必要があります。												
改革計画	地域の方々が貴重なマンパワーとして活躍できるよう、先進地での活動内容、事業実績等を学ぶフォローアップ研修を平成29年度に実施します。												
二次評価者	長寿介護課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	団塊の世代が後期高齢者となる2025年をめどに「地域包括ケアシステム」の体制を構築していく必要があり、研修を受講していただいた方々に、地域の貴重なマンパワーとして活躍できる場を作っていくことが今後求められます。												